

公益財団法人
宇部興産学術振興財団

特別講演及び2010年度学術奨励賞贈呈式次第

日時 2011年6月3日(金) 14:00~18:30

場所 宇部全日空ホテル 万葉の間 (3階)

開催の辞			14:00
挨拶	代表理事	田村 浩章	
特別講演			14:10
明日の医療 : 「タンパク質から迫る老化と病気」	山口大学 教授	中井 彰	
休憩			15:40
贈呈式			16:00
理事・評議員紹介	事務局長	原田 勝正	
選考委員紹介&審査過程報告	選考委員長	植村 榮	
贈呈式	代表理事	田村 浩章	
受賞者3分間スピーチ		受賞者各位	
ポスターセッション			
交流会			17:00
中締め			18:30

特別講演 明日の医療：「タンパク質から迫る老化と病気」

山口大学医学系研究科医化学分野

教授 中井 彰 先生

講演要旨

私たちのからだはおよそ 60 兆個の細胞からなり、細胞の老化が個体の老化と密接に関連しています。細胞は、ゲノム情報にもとづいて働く、多くの個性あるタンパク質が営む社会に例えられます。近年、老化や寿命に影響する重要な要因の一つとして、タンパク質の異常が明らかになりました。タンパク質の構造と機能の解明により明らかになってきた老化ならびに老化と関連するアルツハイマー病などの病気の仕組みや治療法の可能性について講演させていただきます。

演者紹介

研究テーマ

「ストレス応答の分子機構と生理機能の解析」

「蛋白質ホメオスターシスの維持機能と生理的意義の解明」

学 歴

1963年1月 誕生
1991年 鳥取大学博士課程終了
1991-1993年 米国ノースウエスタン大学ポスドク
1992年 日本学術振興会特別研究員
1993-1998年 京都大学胸部疾患研究所・助手
1998-2000年 京都大学再生医科学研究所・助手
2000年 山口大学医学部 教授

受賞学術賞

2000年度 宇部興産学術振興財団 渡辺記念特別奨励賞・受賞 (37歳)

受賞研究 「ストレス応答システムの生理的役割の解明」

トピックス 中井先生を中心とする研究グループは国立がんセンター研究所、ドイツマックス・デルブリュックセンターとの連携研究で、アルツハイマー病や、パーキンソン病などの難治性の疾患群の治療につながる重要な遺伝子を発見した。この成果は2010年9月10日付け英科学雑誌 *EMBO Journal* 電子版に掲載され、トップページにハイライトとして紹介されています。